

令和4年度第2回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	若林 武志

開催日時	令和4年10月15日(土)10:00~12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、福井委員、田中委員、阿部委員、山本委員
出席者(学校)	若林校長、木下教頭、船越事務長、田戸首席、中村教諭、川北教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度第2回学校運営協議会レジメ</li> <li>・令和4年度 学校経営計画(進捗状況)</li> <li>・令和4年度 久米田高等学校マネージメントシート(進捗状況)</li> <li>・令和4年度第1回授業アンケート結果(学校全体)</li> <li>・令和5年度使用教科書の採択について</li> <li>・スクール・ミッション(案)について</li> </ul>
備考	

議題等(次第順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長挨拶</li> <li>・協議委員紹介及び事務局自己紹介</li> <li>・資料確認</li> <li>・令和4年度学校経営計画とマネージメントシート(進捗状況)</li> <li>・令和4年度第1回授業アンケート結果(学校全体)</li> <li>・令和5年度使用教科書の採択について</li> <li>・スクール・ミッション(案)について</li> </ul>
----------	---

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<令和4年度学校経営計画進捗状況およびマネージメントシートの報告について>  
 学校経営計画の本年度取組みの進捗状況報告及び各分掌・学年・委員会等の本年度取組みの進捗状況を報告  
 ・トイレの洋式化が必要であると感じる。泉南地区の私立高校のトイレを見たがほとんど洋式だった。公立ではまだ和式のトイレも見られる。トイレにも設備投資しなければ公立離れがさらに進んでしまう。洋式でないトイレができない子もいる。岸和田の市役所もほとんど洋式化を行った。岸和田市の中学校は洋式が進んでおり、すべて洋式になった。本校では夏休みに5つだけ洋式化を行った。トイレの洋式化は工事の音の配慮があり、工事の期間も長く予算もかかってしまう。工事をするにあたる問題が多くある。トイレ工事は場所によって期間を変えようというようにローテーションで行うとよい。和式のトイレを残してほしいという声も少しあるが、洋式トイレが世の中で一般的になっているので洋式化を進めているところが多い。  
 ・学校経営計画に「卒業生による進路ガイダンス」とあるが、卒業生の話を開けるのは生徒たちにとって大きなことだと思う。学校から卒業生に依頼の連絡をしている。受験時の悩みや今の仕事の話聞くことができ、生徒からの評判も良い。高校生の中にはまだ将来の目標がない子がいる。そのような生徒にとっても先輩の話聞くことができるのは効果的だと思う。ぜひ続けて欲しい。  
 ・遅刻数が、昨年度より多くなることが予想される。しかし、3年前は遅刻が年間4000件あった。2年前は2500件まで減り、去年は新型コロナウイルスが蔓延したということもあり1700件まで減った。今年の遅刻が増えてしまっているのは、生徒が自分自身で校則を守る意識をもってほしいため、最近是指導を緩めている。なお、大事な部分は今までと変わらず指導している。  
 ・進路について、共通テスト志願者は74名である。スタサポは上段が学力、下段が学習習慣となっている。集中学習会(7/20~7/22)には40名ほど参加している。大学の教授に来ていただき体験授業を実施し、評判が良かった。  
 ・夏の学校見学会は二日間で応募者800名。こちらは体験授業が中心となっている。秋の学校見学会は申込600名。こちらはクラブ体験が中心となっている。校外の見学会は10月30日の予定となっている。  
 ・最近学生の歩きながらスマホを見ている姿(ながらスマホ)をよく見かける。自転車に乗っている間にイヤホンをつけている学生もおり、以前、止まっている車にぶつかった事故があったとも聞いている。安全面での工夫や声かけの方法などの交通教育について考えたい。生徒だけでなく大人もよくながらスマホや傘を差しながらの運転をしている。こちらが伝えていかなければならない。  
 ・新型コロナウイルスの蔓延が収まってきているのもあり、行事を行えているのが学校全体として順調に思える。しかし、遅刻が増えてきているのが気になる。授業遅刻の割合は多くはないが一定数いる。1限の授業には間に合うが朝のSHRIに間に合わない生徒もいる。遅刻は他の授業出席者のモチベーションに関わるので、授業遅刻が多いならば、何か対策を考えていかなければならない。  
 ・久米田高校はクラブ加入率がもう少し高い印象があった。学校内で元気に活動してほしい。  
 ・コロナ禍もあり、動画やネットを見て授業や部活動を行う機会が増えた。それもあり、子供のスマホのギガが足りなくなりました。久米田高校では学校側からクロームブックを一人一台渡している。自宅にも持ち帰ってよい。部活動でICT機器が必要な時はそれらを活用するようにしている。  
 ・30年以上ウォークマンがはやった。テスト前勉強内容をテープに録音しウォークマンを貸し出したところそれらを活用した生徒たちの成績が上がった。勉強は、分かる面白、分からなければやらないという循環になってしまう。教員の負担は増えてしまうが、勉強が分かるようになるためにICT環境を整えられるようにして欲しい。

<令和4年度第1回授業アンケート結果(学校全体)>  
 ・アンケート結果は全体的には数値が高いが、授業分析と生徒理解が課題となっている。生徒の意識に気を配るようにならなければならない。生徒は、授業が楽しいと意欲的になるが、できると分かるとは違ふ。できるようになるまで繋げていかなければならない。昔は、勉強は自分が頑張るものであったが、今は先生の授業が分かりやすくなっており、それによって勉強を頑張る生徒も多くなって来ている。ただ、自分が分からなくなったときに自分自身で理解しようとする力は少なくなってきているように感じる。  
 ・授業アンケートの紙について、質問内容に番号をつけていただくと分かりやすい。また、実際のアンケート用紙を結果と一緒に用意しておいて欲しい。

<令和5年度使用教科書の採択について>  
 ・来年度の教科書の一覧なので、選定理由も一緒に見ておいてほしい。特に新しく選定したものについては、PTAの委員会で実物を見てもらったが、問題ないように思う。

<スクール・ミッション(案)について>  
 ・スクールポリシーの作成にあたり、その土台となるのがスクールミッションとなる。スクールミッション(案)のための4つの要素を考える。(ア)校種、立地、理念(どのような高校であるか)、(イ)社会的期待(どのような生徒を育てるか)、(ウ)めざす教育(教育の方針)、(エ)特色・強み・独自性(実践しようとする具体的な教育内容)。各要素について、検討した内容を構成して、(ア)と(イ)の内容にあたるものがスクールミッションとなり、(ウ)と(エ)の内容にあたるものが(来年度作成する)スクールポリシーのものとなる。今回は久米田高校でのスクールミッションの案を提出することになっている。何かご意見があれば是非いただきたい。大学だけでなく高校でも行わないといけなくなってきた。今回のスクールミッションと学校内での目標は同じものであり、学校経営計画をもとに作るものだと思う。この案に賛成。高校の統廃合が進み、かなり前に久米田高校もなくなる噂があったが、残っており生徒たちにも浸透している。(エ)に「生徒会活動・学校行事・部活動の活性化」とあるが、これらはすべて等しく活性化していきたい。スクールミッションがあると保護者にどんな生徒教育を心がけているのか分かりやすい。近年、その学校でしか学べない分野の重要性が増してきている。スクールミッションがあると進学の際に学校選択の判断材料として重要な役割になると思う。

<その他>  
 ・夏休みの講習に、3年生は100名ほど参加している。先生は夏休みも忙しい。ICTをつかって先生の負担も減らしながら、生徒が頑張れる環境をつくって欲しい。  
 ・このあたりの地域はだんじり祭りが盛んだが、生徒はだんじり祭りの雰囲気や学校に持ち込んだりすることはほとんどない。学校生活を中心に過ごしているなら、祭りも楽しんでやって欲しい。

次回の会議日程	
日時	令和5年2月18日10:00~(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校